

製品名: MEK1 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe86346**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC,IP
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:50-1:200,ICC/IF 1:20-1:50,FC 1:20-1:50,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW:43 kDa; Observed MW:43 kDa

抗原情報

遺伝子名	MEK1
別名	CFC3; MEK1; MKK1; MAPKK1; PRKMK1
遺伝子 ID	5604
SwissProt ID	Q02750
免疫原	ヒト MEK1 の合成ペプチド

背景

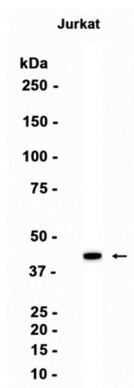
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、二重特異性タンパク質キナーゼファミリーに属し、ミトジェン活性化タンパク質

(MAP) キナーゼキナーゼとして機能します。MAP キナーゼは細胞外シグナル制御キナーゼ (ERK) としても知られ、複数の生化学的シグナルの統合点として機能します。このタンパク質キナーゼは MAP キナーゼの上流に位置し、細胞外および細胞内の様々なシグナルに応じて MAP キナーゼの酵素活性を刺激します。MAP キナーゼシグナル伝達経路の必須構成要素として、このキナーゼは増殖、分化、転写制御、発達など、多くの細胞プロセスに関与しています。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]

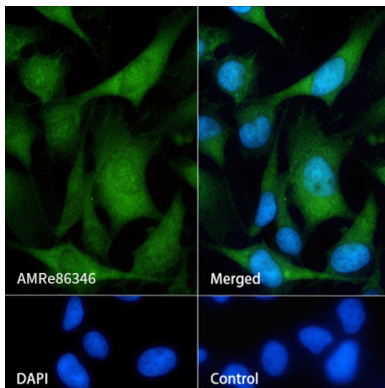
研究分野

-

画像データ



MEK1 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用した Jurkat 細胞抽出物のウェスタンブロット分析。



AMRe86346 で MEK1 を標識した HeLa 細胞の免疫蛍光分析。